

令和5年第2回定例会
予算決算常任委員会
政策企画雇用経済観光分科会
説明資料

◎ 議案補充説明

議案第31号「令和5年度三重県一般会計補正予算（第4号）」

議案第68号「令和5年度三重県一般会計補正予算（第5号）」

・・・ 1

◎ 所管事項説明

令和6年度当初予算要求状況（観光部関係分）について

・・・ 3

令和5年12月11日

観光部

◎議案補充説明

- ・議案第 31 号 令和 5 年度三重県一般会計補正予算（第 4 号）
- ・議案第 68 号 令和 5 年度三重県一般会計補正予算（第 5 号）

○令和 5 年度三重県一般会計補正予算（第 4 号、第 5 号）総括表

（金額単位：千円）

区 分	補正前の額	補正額 （第 4 号）	補正額 （第 5 号）	補正後の額
一般会計	4,044,494	△327,178	5,243	3,722,559
商工費	4,044,494	△327,178	5,243	3,722,559

○令和 5 年度三重県一般会計補正予算（第 4 号、第 5 号）主な項目一覧

（金額単位：千円）

項 目	細事業名	補正前の額	補正額 （第 4 号）	補正額 （第 5 号）	補正後の額	説 明	
商工業費	観光振興費	人件費	314,651	79,355	4,383	398,389	人件費の精査及び人事委員会勧告に基づく給与改定による増額等
		県営サンアリーナ環境整備費	318,721	△23,938	—	294,783	事業実績見込額精査に伴う減額
		拠点滞在型観光推進事業費	934,683	△334,423	—	600,260	事業実績見込額精査に伴う減額等
		みえ観光の産業化推進事業費	1,823,119	△12,000	134	1,811,253	事業実績見込額精査に伴う減額等
		高付加価値旅行者層誘致促進事業費	54,973	△27,486	—	27,487	国交付金の交付決定額の減に伴う減額

○債務負担行為（一般会計第4号関係）

（追加）

（金額単位：千円）

事 項	期 間	限 度 額
県営サンアリーナ内の県内産間伐材使用ベンチ使用料	令和5年度～令和6年度	144
みえ旅おもてなしプラットフォームに係る契約	令和5年度～令和6年度	16,000

令和6年度当初予算要求状況

「みえ元気プラン」取組概要 (観光部抜粋版)

令和5年12月

三重県

施策5-1 持続可能な観光地づくり

(主担当部局：観光部)

施策の目標

(めざす姿)

魅力ある地域資源を生かした観光コンテンツの提供や、質の高い宿泊施設等の受入れ環境整備など、旅行者のニーズに対応した受入れ体制が整備されることで、三重県を訪れた人びとが観光を満喫でき、観光客の満足度が向上するとともに、平均宿泊日数が増加しています。

また、地域住民をはじめ、地域全体で旅行者の受入れ機運を高め、三重県の持続可能な観光が推進されることで、三重県を訪れた旅行者がより深く観光コンテンツを体験でき、長期滞在が増加するなど、三重県の「拠点滞在型観光」のイメージが定着しています。

1. 基本事業の取組状況

基本事業名

・令和5年度の主な取組

① 拠点滞在型観光の推進

- ・三重ならではの観光資源を磨き上げ、「そこに滞在する価値」を生み出すことで、国内外の旅行者から、長期滞在の目的地として選ばれる観光地をめざします。
- ・三重の伝統・歴史・文化、自然などの魅力が体験できるコンテンツを磨き上げ、動画を活用した国内外へのプロモーションや、旅行商品化の促進に取り組みます。
- ・地域特有の食材・習慣・伝統・歴史等によって育まれた食に高い関心を持つ旅行者を新たに誘客していくため、三重の食や食文化の魅力を生かしたガストロノミーツーリズムを推進します。
- ・旅行者の宿泊日数を延ばすため、複数の事業者の連携による、2泊3日以上での周遊モデルコースの構築に向けた施設改修や二次交通の充実などの取組に対し支援します。

② DMO(観光地域づくり法人)等の支援

- ・(公社)三重県観光連盟と共に、令和6年度以降の連盟の役割や機能強化に向けた検討を行います。
- ・県内のDMO等の運営責任者を対象に、持続可能な観光地経営やDMO運営に係る研修会を実施するとともに、重点支援を行うDMOに対して、戦略の再構築やマネジメント体制等にかかるコンサルティング支援を行います。
- ・(公社)三重県観光連盟と連携して、地域DMOに対し、Googleビジネスプロフィールを活用したデジタルマーケティングの導入とデータ分析・活用を支援します。

③ 受入れ環境の整備

- ・高付加価値旅行者の移動手段の一つである、ヘリコプターを活用した移動サービスの事業化可能性を調査するため、ヘリコプター活用促進地域協議会を設置し、旅行者ニーズを踏まえた実証運航の実施等に取り組みます。
- ・高付加価値旅行者の受入れ対応が可能な宿泊施設の立地促進補助制度を活用し、上質な宿泊施設の誘致に係る情報収集や、誘致のための調整等に取り組みます。
- ・県内へ寄港する外国クルーズ船の受入対応を地域の受入協議会と連携して実施するとともに、新たなクルーズ船の寄港に関する受入調整等に取り組みます。
- ・バリアフリー観光を推進するため、伊勢志摩バリアフリーツアーセンターと連携し、10ヶ所の宿泊施設等を対象に、パーソナルバリアフリー基準による調査等を実施するとともに、国が進める「観光施設における心のバリアフリー認定」の取得促進に向けた研修会を開催します。

④ 観光人材の育成

- ・人手不足により季節的な観光需要に応えることができない体験コンテンツ事業者を支援するため、大都市圏でのマッチング商談会や求人サイトを活用したマッチング支援を行います。
- ・高付加価値旅行者のニーズに対応できる観光ガイドの調査及び観光ガイド人材の育成に向けた課題や取組の方向性を整理します。

2. KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの項目						関連する基本事業	
令和3年度	4年度	5年度		6年度	7年度	8年度	5年度 の評価
現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	
観光客満足度						①②③④	
—	95.0%	95.0%	—	95.0%	—	95.0%	—
93.5%	94.4%	—	—	—	—	—	—
県内の平均宿泊日数						①②③④	
—	1.19泊	1.23泊	—	1.26泊	—	1.33泊	—
1.20泊	1.23泊	—	—	—	—	—	—
リピート意向率						①②③④	
—	95.0%	95.0%	—	95.0%	—	95.0%	—
92.6%	93.2%	—	—	—	—	—	—

※ KPIについては全て暦年の数値

3. 令和6年度の課題と取組方向

基本事業名

・令和6年度以降に残された課題と対応

① 拠点滞在型観光の推進

- ・本県の平均宿泊日数は全国に比べて低位(令和4年 1.23泊/全国平均 1.35泊)であることが課題であるため、拠点滞在型観光のさらなる推進に向けて、伝統・祭り、歴史・文化、自然など三重ならではの観光資源を生かしたコンテンツの発掘・磨き上げや提供販売体制の構築、地域ブランディングに取り組む意欲のある地域 DMO 等を支援します。
- ・地域特有の食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食に高い関心を持つ旅行者を対象に、三重の食や食文化の魅力を発信するなど、引き続きガストロノミーツーリズムを推進します。

② DMO(観光地域づくり法人)等の支援

- ・全県 DMO として観光地経営の司令塔としての役割が求められている(公社)三重県観光連盟に対し、全県 DMO が担うべき役割を円滑に実施できるよう、インバウンド向けプロモーション機能や地域 DMO 等への支援機能の拡充を図ります。

③ 受入れ環境の整備

- ・高付加価値旅行者の受入れ環境の整備に向け、引き続きヘリコプターを活用した取組を進めるほか、上質な宿泊施設の新規立地に向けた誘致に取り組めます。
- ・外国クルーズ船のさらなる誘致に向け、寄港地での周遊と消費につながる魅力づくりなど、関係機関と密な情報交換を行いながら受入れ態勢の充実に取り組めます。
- ・誰もが三重の観光を楽しむことができるバリアフリー観光を推進するため、伊勢志摩バリアフリーツアーセンターと連携し、宿泊施設等に対するパーソナルバリアフリー基準による調査や「観光施設における心のバリアフリー認定」の取得促進などに取り組めます。

④ 観光人材の育成

- ・観光産業における人材不足を解消するため、事業者を対象とした生産性向上に向けたワークショップを開催するとともに、観光人材の確保に向けた就職説明会や、観光人材マッチングサイトを活用した採用支援、観光産業の魅力発信に取り組めます。
- ・旅行者が安心かつ快適に県内を周遊できる環境を整えるため、観光ガイド人材の育成に向けた課題や取組の方向性をふまえ、体験コンテンツ事業者のガイドスキルの向上や、高付加価値旅行者のニーズに対応できるプロフェッショナルガイドの確保・育成に取り組めます。

4. 主な事業

観光部

《（１）拠点滞在型観光の推進》

①（一部新）拠点滞在型観光推進事業

（第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費）

予算額：(R5) 934,683 千円 → (R6) 627,222 千円

事業概要：観光地づくりに意欲的に取り組む DMO 等が行う旅行者の滞在・周遊拠点となる宿泊施設や観光案内の充実に向けた取組や、歴史・文化や自然など三重ならではの観光資源を生かした滞在型の観光コンテンツ開発及び販売提供体制の構築などの取組を継続的に支援します。

②（新）みえガストロノミーツーリズム推進事業

（第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費）

予算額：(R5) ー千円 → (R6) 25,718 千円

事業概要：地域特有の食材・習慣・伝統・歴史等によって育まれた食や食文化に触れる旅（ガストロノミーツーリズム）を推進するため、地域の生産者、料理人、宿泊事業者など様々な関係者による食文化の発信や体験プログラムの提供、関係者同士の交流機会の創出などを支援します。

《（２）DMO（観光地域づくり法人）等の支援》

①（新）全県 DMO 経営基盤強化事業

（第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費）

予算額：(R5) ー千円 → (R6) 225,414 千円

事業概要：全県 DMO である三重県観光連盟が観光地経営の司令塔としての役割を担うため、令和 5 年度に実施された三重県観光連盟のあり方検討の結果をふまえ、まず、新たにインバウンド向けプロモーション業務を推進する体制を整備するとともに、地域 DMO への支援業務を着実に実施できるよう基盤強化を図ります。

《（３）受入れ環境の整備》

①（新）観光客受入環境整備事業

（第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費）

予算額：(R5) ー千円 → (R6) 91,974 千円

事業概要：国内外の旅行者が快適かつ便利に滞在できる環境を整えるため、バリアフリー観光の推進や高付加価値旅行者向けのヘリコプター活用の検討、上質な宿泊施設の誘致に向け、市町と連携した事業者への情報提供体制の強化を図るほか、熊野古道伊勢路アルベルグにおけるインバウンド受入環境の充実や外国クルーズ船の誘致・受入体制の強化などに取り組みます。

≪ (4) 観光人材の育成 ≫

① (新)観光産業生産性向上推進事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R5) ー千円 → (R6) 49,616 千円

事業概要:観光産業が抱える生産性の低さや人手不足等の課題解決に向け、観光事業者の実態の把握に取り組みます。また、生産性向上に向けたコンサルティングやワークショップを行うことにより、経営力の向上や働きやすい職場づくりに取り組みます。

② (新)みえの風土を活用した観光推進事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R5) ー千円 → (R6) 39,153 千円

事業概要:海外からの高付加価値旅行者の受け入れ体制の整備に向けて、本県の国立公園等の自然を生かした誘客の方向性調査を実施するとともに、高付加価値旅行者の多様なニーズに対応できるプロフェッショナルなガイドを確保するため、高度な外国語能力や三重の観光に関する質の高い知識を有する全国通訳案内士等を対象にスキル向上を目指す研修プログラムの策定及び実践を行います。

施策5-2 戦略的な観光誘客

(主担当部局：観光部)

施策の目標

(めざす姿)

国内外の多くの旅行者が観光の目的地として三重県を選び、県内の観光消費額が増加しています。また、旅行者データや観光統計に基づく観光マーケティング・マネジメントを行い、旅行ニーズに合わせた戦略的な観光プロモーションを展開することで、三重県ファンが増加するとともに、国内外から三重県への来訪や宿泊が増加しています。

1. 基本事業の取組状況

基本事業名

・令和5年度の主な取組

① 観光マーケティングの推進

・観光DXの推進に向け、「みえ旅おもてなしプラットフォーム」を運用するとともに、旅行者のロイヤリティ(旅行先への愛着)を高める仕組みとして「みえ旅おもてなしポイントプログラム」を引き続き実施します。

② 観光プロモーションの強化

・美しい自然や豊かな食、歴史や文化など、三重ならではの魅力的な観光資源を活用し、首都圏等大都市圏における交通広告の掲出や、県内旅行事業者が交通事業者と連携して実施する県内への旅行商品の造成・販売支援等、全国からの誘客に取り組みます。

・県内への誘客及び周遊を促進するため、株式会社ポケモンとの包括連携協定を活用し、昨年度から実施しているデジタルスタンプラリーを拡大実施するとともに、県内鉄道事業者と連携したスタンプラリーを実施します。

・新型コロナウイルス感染症により大きな打撃を受けた観光産業の早期回復に向け、全国旅行支援を令和4年度に引き続き7月21日まで実施し、約240万人の方に利用いただきました。今後も旅行需要喚起に向けた施策を適時実施していきます。

・県内学校の宿泊を伴う教育旅行を支援するとともに、県外学校による教育旅行の来訪促進に向け、目的地としての魅力のPRに取り組みます。

③ インバウンドの誘客

・海外から高付加価値旅行者を誘致するため、海外の旅行会社の招請、商談会への出展、新市場調査に取り組みます。観光庁により選定された、「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」のモデル観光地への支援については、県内DMOと連携し、マスタープランの策定に向けて準備を進めるとともに、奈良県、和歌山県と連携した旅行会社の招請などに取り組みます。

・三重県産業観光推進協議会と連携し、説明会開催による受入企業の拡大や商談会への出展、多言語Webサイトの構築など産業観光の推進に取り組むとともに、大学との連携やMICE誘致促進補助金を活用し、国際会議を始めとするMICEの誘致に取り組みます。

・海外から大阪・関西万博等への訪問を検討する外国人旅行者を対象に、三重県を含む関西各地域への周遊を促すため、関西観光本部を中心に、関西の官民が連携して取り組む万博プラス関西観光推進事業に参画し、広域旅行商品の造成などのプロモーションに取り組みます。

・本格的に回復する外国人旅行者を確実に取り込んでいくため、海外レップ(営業代理人)による現地旅行会社へのセールス、メディア・旅行会社のファムトリップ及び、多言語SNS等オンラインを活用し、日本政府観光局(JNTO)とも連携した海外への情報発信等に取り組みます。

2. KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの項目							関連する基本事業	
令和3年度	4年度	5年度		6年度	7年度	8年度	5年度の 評価	
現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値		
観光消費額							①②③	
—	4,950億円	5,250億円	—	5,560億円	—	6,500億円	—	
3,562億円	4,269億円	—	—	—	—	—	—	
県内の延べ宿泊者数							①②③	
—	766万人	812万人	—	860万人	—	1,041万人	—	
518万人	688万人	—	—	—	—	—	—	
県内の外国人延べ宿泊者数							①②③	
—	34.6万人	36.7万人	—	38.9万人	—	45.4万人	—	
1.7万人	4.9万人	—	—	—	—	—	—	

※ KPIについては全て暦年の数値

3. 令和6年度の課題と取組方向

基本事業名

・令和6年度以降に残された課題と対応

① 観光マーケティングの推進

・「みえ旅おもてなしプラットフォーム」を活用することにより旅行者データを蓄積し、旅行者一人ひとりのニーズに合わせた One to One マーケティングに取り組みます。あわせて、「みえ旅おもてなしポイントプログラム」の運用を通じて、市町・DMO・観光関連団体等と連携し、データ分析に基づく観光マーケティングを推進します。

② 観光プロモーションの強化

・首都圏等大都市圏の比較的消費単価の高い顧客層を対象に、事業者と連携した各種広告や商業施設等でのイベントの開催及び旅行商品の造成・販売等に取り組みます。
 ・熊野古道伊勢路の世界遺産登録20周年記念イベントと連動して、交通事業者と連携した旅行商品の造成・販売や情報発信等の観光プロモーションに取り組みます。
 ・「2025年大阪・関西万博」の開催を好機ととらえ、旅行者が三重県への周遊を検討・実現できるよう旅行商品の造成・販売等に取り組みます。
 ・株式会社ポケモンとの包括連携協定を活用して県内の事業者等と連携し、県内への誘客や周遊を促進します。
 ・県内の観光消費の回復や観光誘客の促進を図るため、体験コンテンツの利用促進キャンペーンなど県内への周遊促進に向けた施策を適時実施していきます。
 ・県内への再訪が見込める将来のファン獲得につなげるため、県内を訪問先とした県外学校による教育旅行の来訪促進に向け、目的地としての魅力をPRするなど誘致に取り組みます。

③ インバウンドの誘客

・海外からの高付加旅行者の誘致を進めるため、新市場調査の結果を踏まえ、本県の観光資源が強みを持つ市場に対し、効果的なプロモーションに取り組みます。また、県内DMOや奈良県、和歌山県と連携しながら、紀伊半島など広域での誘客に取り組みます。
 ・三重県産業観光推進協議会によるプロモーションなどの活動への支援を通じて、海外からの企業の報奨旅行・研修視察旅行の増加につなげるほか、G7伊勢志摩サミットやG7三重・伊勢志摩交通大臣会合の開催地としてのブランド力や美しい自然、歴史・文化といった強みを生かし、地域への経済波及効果が高い国際会議を始めとするMICEの誘致に取り組みます。

- ・海外から大阪・関西万博を訪問する旅行者等の三重県への周遊を促進するため、広域旅行商品の造成や海外旅行会社との商談会等への参加、オンラインを活用した情報発信などに、関西観光本部や日本政府観光局(JNTO)とも連携してプロモーションに取り組みます。
- ・アジア市場等からの外国人旅行者の誘致について、全県DMOである(公社)三重県観光連盟と連携し、オンラインを活用した情報発信や海外旅行会社へのセールスなど、プロモーションの強化に取り組みます。

4. 主な事業

観光部

《(1) 観光マーケティングの推進》

① 戦略的な観光マーケティング推進事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R5) 67,937千円 → (R6) 83,000千円

事業概要:データ分析に基づく観光マーケティングを推進するため、「みえ旅おもてなしプラットフォーム」の利便性の向上や市町・DMO等を対象としたセミナー開催によるデータ分析スキルの向上等に取り組みます。

《(2) 観光プロモーションの強化》

① (一部新)みえ観光の産業化推進事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R5) 1,363,119千円 → (R6) 302,573千円

事業概要:大阪・関西万博や熊野古道世界遺産登録20周年に伴うイベント等と連動し、県内各地域の強みを生かした首都圏等大都市圏へのプロモーションなど、県内への誘客や周遊促進に向けた取組を実施します。

② (新)観光需要平準化促進事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R5) -千円 → (R6) 212,911千円

事業概要:閑散期や平日の利用促進キャンペーンや県外からの教育旅行の誘致促進など新たな顧客層の獲得につながる取組を行うことで、県内観光消費の促進や需要の平準化を図ります。

《(3) インバウンドの誘客》

① (一部新)高付加価値旅行者層誘致促進事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R5) 54,973千円 → (R6) 57,788千円

事業概要:海外から高付加価値旅行者層の誘致を進めるため、県が強みを有する市場に対し、新たに高付加価値旅行者層の誘致に特化した現地レップ(営業代理人)を配置し、旅行会社との継続的かつ強固な関係性を構築することで効果的なプロモーションに取り組みます。また、県内DMOや奈良県、和歌山県等と連携し、紀伊半島など広域での誘客に取り組みます。

② (一部新)海外 MICE 誘致促進事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R5) 18,347千円 → (R6) 39,021千円

事業概要:G7伊勢志摩サミットや G7 三重・伊勢志摩交通大臣会合の開催地としてのブランド力や美しい自然、歴史・文化、多様な産業の集積といった強みを生かした MICEの誘致に取り組みます。また、MICE のうち従来からの C(国際会議)に加え、M(企業等の会議)とI(報奨旅行や研修旅行)の誘致に取り組むほか、MICE の市場動向や必要な受入環境等についての調査を行います。

③ (一部新)プラス三重旅促進事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R5) -千円 → (R6) 73,033 千円

事業概要:大阪・関西万博など三重県周辺で開催される海外からも注目される大規模イベントを目的に来訪する外国人旅行者や、東京―大阪間や関西圏を中心にゴールデンルートを周遊する外国人旅行者の三重県への周遊・宿泊を促進するため、情報発信や旅行商品造成等の取組を、関西観光本部や日本政府観光局(JNTO)と連携して実施します。

令和6年度 観光部関係当初予算要求状況総括表

○款別総括表

事業費
単位：千円

区 分	令和5年度 当初予算額 (A)	令和6年度 当初予算要求額 (B)	前年度 比較増減 (B-A)	B/A
一般会計	3,570,993	2,695,372	△875,621	75.5%
商工費	3,570,993	2,695,372	△875,621	75.5%
合計	3,570,993	2,695,372	△875,621	75.5%

令和6年度当初予算要求新規事業一覧(観光部関係)

各記号の意味は、以下のとおりです。

「※」…一部新規を含むもの(事業費は新規分のみを計上)

「◆」…令和6年度重点施策枠のもの

(単位:千円)

番号	施策	事業名称	細事業名称	事業概要(新規・一部新規の事業部分のみ)	事業費	一部新規	重点施策
1	5-1	観光産業支援事業費	観光産業人材確保・育成事業費	旅行者よし、事業者よし、地域住民よしの持続可能な観光地の実現には、観光産業の土台である人材の確保が不可欠であるため、観光事業者特化型の就職説明会を開催するなど、観光事業者の人材不足解消に取り組みます。	32,304		
2	5-1	観光産業支援事業費	観光産業生産性向上推進事業費	観光産業が抱える生産性の低さや人手不足等の課題解決に向け、観光事業者の実態を把握し、取組の方向性を検討するとともに、生産性向上に向けたコンサルティングやワークショップを行うことにより、経営力の向上や働きやすい職場づくりに取り組みます。	49,616		
3	5-1	観光産業支援事業費	観光産業魅力発信事業費	観光業界で働く従業員目線の動きがいや、観光が経済・社会・環境の各方面で地域に貢献していること等、SNS広告を活用して観光産業の様々な魅力を発信することでイメージアップを図り、将来的な担い手の確保に取り組みます。	5,960		
4	5-1	観光資源活用推進事業費	拠点滞在型観光推進事業費	県内市町、観光協会、DMO等と連携を図りながら、三重ならではの観光資源を磨き上げ、それらを生かした周遊ルート構築などに取り組みすることで「拠点滞在型観光」を推進します。 また、観光コンテンツの発掘・磨き上げや地域ブランディングに取り組み意欲のある地域DMO等への支援を行います。	559,435	※	◆
5	5-1	観光資源活用推進事業費	観光客受入環境整備事業費	バリアフリー、二次交通、上質な宿泊サービスの提供など、地域や事業者と連携して観光客受入環境の整備を促進します。また、令和15年の次期式年運営を見越した外国人受入や二次交通整備の取組を支援します。	44,352	※	
6	5-1	観光資源活用推進事業費	全県DMO経営基盤強化事業費	三重県観光連盟の機能強化を図り、県内の観光施策の中心的な役割を担うことができるよう、安定的な運営体制を支援しつつ、これまで県が担っていたインバウンド向けプロモーション業務の一部、地域DMO支援業務を移管します。	146,980	※	◆
7	5-1	観光資源活用推進事業費	みえの風土を活用した観光推進事業費	高付加価値旅行者の受入態勢を整備するため、三重の国立公園等の自然を生かしたインバウンド誘客の方向性の調査やプロフェッショナルガイドの育成などに取り組みます。	39,153		
8	5-2	観光戦略事業費	観光戦略費	三重県観光振興基本計画に基づき、県民や多くの関係者とともに観光事業の推進を図るため、三重県観光行政アドバイザー(仮称)にて有識者からご意見をいただき、施策に反映してまいります。	2,944	※	
9	5-2	観光戦略事業費	観光データ調査事業費	観光事業の推進を図るため、観光動向の分析に必要なインバウンド実態調査を実施します。また、観光産業によって生まれる経済効果をさらに高めるため、域内調達率を調査し、現状を把握・分析したうえで、域内調達率を向上させる施策について検討します。	23,577	※	
10	5-2	国内誘客推進事業費	みえ観光の産業化推進事業費	三重県が観光地として選ばれ、観光入込客数及び観光消費単価の増加につなげていくため、首都圏等大都市圏の比較的消費単価の高い層を対象としたプロモーションや、熊野古道世界遺産登録20周年を契機とした誘客・周遊を促す各種取組等を実施します。	57,902	※	◆
11	5-2	海外誘客推進事業費	海外MICE誘致促進事業費	三重県海外MICE誘致促進補助金を見直し、国際会議・学会に加えて企業が主催するミーティングや報奨旅行等を対象に加えます。 また、国内外で開催されるMICEに関する商談会に出展してセールス活動を行うとともに、MICEの市場動向や必要な受入環境等について調査します。	17,071	※	◆
12	5-2	海外誘客推進事業費	高付加価値旅行者層誘致促進事業費	三重県が強みを有する市場に対して、新たに高付加価値旅行者層の誘致に特化した現地レップ(営業代理人)を設置します。	14,883	※	◆
13	5-2	海外誘客推進事業費	プラス三重旅促進事業費	ゴールデンルートと言われる東京-大阪間や関西圏を中心に周遊する外国人旅行者及び、F1日本グランプリを目的に来訪する外国人旅行者に対し、三重県への周遊・宿泊を促進するため、情報発信や旅行商品の造成等に取り組みます。	65,033	※	
観光部 計					1,059,210		

令和6年度当初予算要求重点施策枠事業一覧(観光部関係)

(4) 観光振興と三重の魅力のプロモーション

(単位:千円)

番号	施策	細事業名	事業概要	事業費
1	5-1	拠点滞在型観光推進事業費	多様化する旅行者ニーズをふまえ、三重県の特徴的な観光資源を活かした滞在型の観光コンテンツの発掘・磨き上げや提供販売体制の構築及び地域ブランディングに取り組む意欲のある地域DMO等を支援します。	46,879
2	5-1	全県DMO経営基盤強化事業費	三重県観光連盟の機能強化を図り、県内の観光施策の中心的な役割を担うことができるよう、安定的な運営体制を支援しつつ、これまで県が担っていたインバウンド向けプロモーション業務の一部、地域DMO支援業務を移管します。	96,988
3	5-2	みえ観光の産業化推進事業費	令和6年の熊野古道世界遺産登録20周年を契機として三重県への誘客を促進するために、交通事業者と連携した旅行商品の造成・販売や、関連機関が実施する20周年記念事業と連動した観光プロモーションに取り組みます。また、大阪・関西万博への旅行を検討する国内の個人旅行者に周遊先として三重県を選んでもらえるよう、旅行商品の造成・販売に取り組みます。さらに、観光消費額が他地域よりも高額で宿泊日数も長期となる傾向がある首都圏在住者の来訪者数を伸ばすため、首都圏の事業者と連携して、各種広告や商業施設でのイベント開催等の観光プロモーションに取り組みます。	67,856
4	5-2	海外MICE誘致促進事業費	G7伊勢志摩サミットやG7三重・伊勢志摩交通大臣会合の開催地としてのブランド力や美しい自然、歴史・文化、多様な産業の集積といった強みを生かし、誘致にかかる補助金やレップの活用、商談会への参加やWeb広告等により国内外に向けてプロモーションを行い、MICEのうち、従来からのC(国際会議)に加え、M(企業のミーティング)と(報奨旅行や研修旅行)の誘致にも取り組みます。また、MICEの市場動向や必要な受入環境等について調査を行います。	6,200
5	5-2	高付加価値旅行者層誘致促進事業費	海外から高付加価値旅行者層の誘致を進めるため、県が強みを有する市場に対し、新たに高付加価値旅行者層の誘致に特化した現地レップ(営業代理人)を配置し、旅行会社との継続的かつ強固な関係性を構築することで効果的なプロモーションに取り組みます。また、県内DMOや奈良県、和歌山県等と連携し、紀伊半島など広域での誘客に取り組みます。	46,056
6	5-2	産業観光推進事業費	海外からの企業の報奨旅行・研修旅行の誘致促進と県内での滞在長期化、産業観光の先進地としてのブランド化を目的に、三重県産業観光推進協議会によるプロモーションや視察受入企業の裾野拡大、海外の商談会への参加などの活動と連携した取組を進めます。	13,569
7	5-2	プラス三重旅促進事業費	大阪・関西万博など三重県周辺で開催される海外でも注目度の高い大規模イベントを目的に来訪する外国人旅行者や、訪日インバウンドのゴールデンルートと言われる東京―大阪間や関西圏を中心に周遊する外国人旅行者の三重県への周遊・宿泊を促進するため、情報発信や旅行商品造成等の取組を、関西観光本部や日本政府観光局(JNTO)とも連携して実施します。	8,000
				285,548

令和6年度当初予算要求大規模臨時的経費事業一覧(観光部関係) (単位:千円)

	部局名	細事業名	事業費
I イ 施設改修			
	観光部	県営サンアリーナ環境整備費 (県営サンアリーナの施設・設備等の大規模な修繕・更新)	107,296
I イ 施設改修 計			107,296
III イ その他(新規)			
	観光部	戦略的な観光マーケティング推進事業費 (みえ旅おもてなしプラットフォームのデータ活用等)	83,000
III イ その他(新規) 計			83,000
合計			190,296

○参考「大規模臨時的経費として要求する事業の分類区分」

I 義務的割合が高いもの

- ア 法令で義務づけられた経費、及び債務負担行為が設定済みかつ契約済みの経費
- イ ア以外で、県有施設の老朽化等に伴う大規模改修・修繕工事にかかる経費

II Iより義務的割合は低い、客観的な基準により真にやむを得ないと判断できるもの
情報システムにかかる保守期限の到来等に伴う改修経費

III その他の事業

- ア 継続事業
- イ 新規事業

事業の見直し調書（観光部関係）

(注)調書の各記号の意味は、以下のとおりです。

「◇」…令和5年度重点施策枠のもの

「□」…令和6年度重点施策枠のもの

番号	事業名	区分			令和5年度	6年度(要)	差引	説明
		廃止	リ フォー ム	休止	当初予算額A	当初予算額B	B-A	
◇ □	1 観光資源活用推進事業費	1			9,207	0	-9,207	日本忍者協議会負担金を拠点滞在型観光推進事業費へ、三重県観光連盟への補助金を全県DMO経営基盤強化事業費へ移管することに伴い廃止します。
◇	2 上質な「みえ旅」・長期滞在促進事業費	1			53,574	0	-53,574	事業をより効率的に実施するため、みえガストロミーツーリズム推進事業へ移管し、インバウンド向けSITモデル事業等を廃止します。
	3 海外誘客推進プロジェクト事業費	1			22,647	0	-22,647	業務を三重県観光連盟へ移管することに伴い廃止します。
	4 観光デジタルファースト推進事業費	1			46,356	0	-46,356	業務を三重県観光連盟へ移管することに伴い廃止します。
	5 インバウンド誘客回復促進事業費	1			8,833	0	-8,833	業務を三重県観光連盟へ移管することに伴い廃止します。
	6 日台観光交流推進事業費		1		1,799	5,426	3,627	事業をより効率的に実施するため、海外誘客推進プロジェクト事業費のうち、台湾教育旅行受入調整等業務委託を、日台観光交流推進事業費に統合します。
◇ □	7 高付加価値旅行者層誘致促進事業費		1		54,973	57,788	2,815	事業をより効率的に実施するため、海外誘客推進プロジェクト事業費のうち欧州プロモーション現地レップ委託業務を、高付加価値旅行者層誘致促進事業費に統合します。
合計		5	2	0	197,389	63,214	-134,175	